

大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



思いやりの心を育む 実り多き学びの秋

深まる秋は、子どもたちの活動に実り多い日々になりました。10月末の6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習をはじめ、様々な体験活動を通して、子どもたちは知識を得るだけでなく、「集団行動のルール」や、何よりも「相手を思いやる心」の大切さを学んでくれています。

修学旅行・宿泊学習に見る成長

修学旅行は、大阪・奈良・京都での歴史と文化に触れる旅でした。特に感銘を受けたのは、子どもたちが集合時間を守り続けたことです。大人でも大変な「大阪城のすごい人混み」の中でも、時間を守り、まわりを思いやる行動ができていきました。あいにくの雨となった金閣寺での傘をさしての見学も、お互いを気遣いながら行動できました。最高の思い出とともに、最高学年としての自覚と成長を感じる2日間でした。

宿泊学習は、雨予報を吹き飛ばすかのように牟岐少年自然の家の活動を楽しむことができました。帰校式での児童代表のあいさつにあった「きまりの中に思いやりの心がある」という言葉が、私の心に深く響きました。ルールを守ることは、まわりの人を大切にすることにつながります。この学びを今後の学校生活に生かしてくれると信じています。

地域と共に育む豊かな心

11月も地域の方々にご協力をいただき、貴重な体験をさせていただきました。1年生の上池花壇の花苗植え、2年生のコスモス畑での遊びなど、笑顔あふれる時間をおくることができています。地域の方に支えられていることへの感謝の気持ちを、子どもたちにもしっかりと伝えてまいります。

11月は、学校行事を通して「きまりを守る力」と「まわりを思いやる心」をしっかり学んでくれたと思います。これからも、この学びの大目に成長してほしいと思います。

12月は、10日(予備日12日)に校内マラソン大会が予定されています。「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」である。これは、イチローさんの言葉です。校内マラソン大会の練習をとおして、自分なりの目標をたて、それを達成する喜びを感じてほしいと思います。

11月号



5年生が育てた菊が表彰されました



5年生が丹精込めて育てた菊が、アエルワの前の「菊花展」に、展示されました。「菊花展」では、大俣小学校の菊の展示がすばらしかったと好評でした。その結果、令和7年度阿波市文化協会総合文化祭菊花展において優秀賞をいただきました。



今は、体育館前に展示しています。学校にお越しの際には、ぜひ5年生の頑張りをご覧になってください。

